

さがみはら森林ビジョン実施計画評価結果一覧表（令和4年度実施事業）

【重点事項その1】7事業

評価年度：令和5年度

シートNo. 事業コード	事業名	事業所管課による評価		審議会からの評価及び意見		審議会からの意見に対する事業所管課の対応
		主な取組・実績	評価	事務事業に対する意見	評価	
1	1-2-1 さがみはら森林ビジョン普及・啓発事業	<p>市民の森事業については、依然、現地でのイベント開催が困難なことから、アリオ橋本主催の「森フェス」にさがみはら津久井産材利用拡大協議会と協働して参加・協力し、パネル展示やワークショップ、チェーンソーカーピング実演を実施した。</p> <p>市外に向けての情報発信として、「川崎駅前優しい木のひろば」へ出展を行い、さがみはら津久井産材を使用した木工ワークショップや木組みのおもちゃ「KUMINO」広場の設置を行った。</p> <p>さがみはら津久井産材PRフリーペーパー第1弾の増刷及び第2弾の新規発行を行い、市内外に問わず、普及啓発に努めた。さがみはら津久井産材利用拡大協議会の公式ツイッターの運用をする等、タイムリーな情報の発信を実施した。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・出展イベント来訪者にアンケートを取ることで来訪者数のカウントやブラッシュアップが可能。 ・観光、シティプロモーション、移住・定住の取組とともにイベント出展の検討を進められたい。 ・現場を見てもらえるような働きかけが必要。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・出展イベントのテーマや開催場所に応じてアンケート調査の実施を検討します。 ・観光シティプロモーションや移住・定住の取組みを踏まえたイベント出展については、関係課や関連団体と連携しながら検討を進めていきます。
2	3-1-1 「相模原市市民の森」整備事業	<p>地元から要望があった登山道（桜道）の復旧を実施するとともに、融合平見晴台の枯損木伐採を行い、景観の改善を実施。また、登山道沿いのナラ枯れ被害の危険木について、伐採・枝落としを実施。</p> <p>イベントの開催については、登山道（東海自然歩道）が令和4年7月に復旧したが、現地でイベントを開催するための体制の整備に時間を要することから、アリオ橋本主催の「森フェス」や潤水都市さがみはらフェスタでさがみはら津久井産材利用拡大協議会と協働して参加・協力し、パネル展示やワークショップを実施。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林の二酸化炭素吸収量の算出が必要。 ・場所を財産区有林等に変更することも検討されたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民の森」については、登山道の一部が復旧したことから予定地でのイベント開催に向け、担い手等の確保に取り組んでいきます。 ・市有林の新たな活用方策について検討していきます。
3	3-3-1 企業の森の整備	<p>交通アクセス、PR効果、及び森林整備内容などの観点から、「相模原市市民の森」以外の市有林についても、企業の森の候補地としての可能性を検討し、交通アクセスの良い市有林を候補に加えた。また、「企業の森」を検討する企業と面会し、ニーズ等を把握するとともに、制度の構築に向けて、他市町村の取組状況など、情報収集を行った。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林の二酸化炭素吸収量の算出を行い、企業のCSRとしてPRしてもらう取組が必要。 ・小田急電鉄や京王電鉄へ津久井の森林に目を向けてもらう働きかけをされたい。 ・企業のワーケーション等の場所としての活用を検討されたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、企業との面談によりニーズの把握に努め、制度構築に向けて取り組んでいきます。

4	4-1-1	さがみはら津久井産材 素材生産量の拡大	令和4年度の素材生産量は、3,438m ³ と目標値を若干下回った。 「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」では、津久井産材の利用拡大に向けた協議や産地証明制度の運用、また、協議会のHP、公式ロゴマークである「つくいのき」のスタンプの制作、Twitterによる情報発信等を行うとともに、川崎市のイベントに出展することにより、知名度の向上と利用拡大に向けての取組を実施した。	B	・行政が原木の購入とストック場所を確保し、素材生産量の拡大に寄与されたい。 ・公共建築物等への利用を計画的に進められたい。	B	・公共建築物等における木材の利用計画を把握し、林業事業者等との情報共有を進めます。 ・公共建築物の木質化を計画的に進めるための庁内組織の設置を検討します。 ・林業のDX化など新たなサプライチェーンの構築に向け検討していきます。
5	4-1-3	地産地消の促進	「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」による産地証明制度 ・流通確認書発行件数...7件 ・販売・取扱量...1,021m ³ さがみはら津久井産材利用促進事業として、公共的建築物や住宅へ、津久井産材を利用する取組に対し、経費の一部を補助。 ○公共的施設等促進事業 ・件数...3件 (5,063千円) R5への繰越事業含む ・場所... にじカフェ(店内机、棚) EINSIEDLERKREBS(看板、ベンチ) 株式会社トーテツ(内装、建具、デッキ等) R5へ繰越 ○「家づくり促進事業」 ・件数...4件 中山間地域対策事業として市内各区へ「木製ガードレール」を設置した。(土木部)	A	・行政が原木の購入とストック場所を確保し、素材生産量の拡大に寄与されたい。 ・公共建築物等への利用を計画的に進められたい。	A	・公共建築物等における木材の利用計画を把握し、林業事業者等との情報共有を進めます。 ・公共建築物の木質化を計画的に進めるための庁内組織の設置を検討します。 ・林業のDX化など新たなサプライチェーンの構築に向け検討していきます。
6	5-1-1	市有林整備事業	緑区青野原地内の市有林3.02haにおいて、間伐等の森林整備を実施した(累計169.78ha)。 また、緑区青山地内の市有林5.35ha及び青野原地内の市有林4.80haにおいて測量調査を行い、緑区青野原地内の市有林において500mの経路を新設した。(森林政策課) ○第4期市町村5か年計画に基づき、中央区上溝地区の姥川沿岸の斜面緑地が持つ水源涵養機能の改善及び増進を図るため、1年目となる令和4年度は1.15haを対象に区域測量を行った。(水みどり環境課)。	B	・指標・目標の下方修正、中間見直しが必要。	B	・県の水源環境保全施策大綱が令和8年度をもって終了するため、令和9年度の全面改訂に合わせ目標値の見直しを検討します。
7	5-1-1	私有林整備事業	○水源の森林づくりエリア内において、協力協約により、間伐・枝打ち40.87ha、路網(作業路)2,210mを整備した。また、新規に4.9haの協力協約(旧津久井町域1カ所、旧相模湖町域1カ所、旧藤野町域4カ所)を締結した。	A	・水源涵養や土砂災害防止等の公的機能が発揮される重要な森林について、荒廃またはその恐れのある私有林の確保(予算獲得又は基金の設立)を検討されたい。 ・目標値の上方修正を検討されたい。	A	・限られた予算の中で森林整備を行う必要があるため、現状、私有林を確保することは困難であり、森林の集約化を促進するなど、森林所有者が効率的に森林整備を行えるよう支援を行っていきます。 ・県の水源環境保全施策大綱が令和8年度をもって終了するため、令和9年度の全面改訂に合わせ目標値の見直しを検討します。

評価区分 S:【事業完了】最終目標を達成済み A:【予定どおり】年度別目標を達成 B:【やや遅れ】年度別目標の80%以上達成 C:【遅れ】年度別目標の50%以上80%未満達成 D:【大幅遅れ】年度別目標の50%未満達成 E:【未着手】

さがみはら森林ビジョン実施計画評価結果一覧表（令和4年度実施事業）

【重点事項その2】6事業

シートNo. 事業コード	事業名	事業所管課による評価		審議会からの評価及び意見
		主な取組・実績		事務事業に対する意見
8	2-3-1 津久井産天板交換等事業	<p>児童机天板の作成及び交換（対象校9校、1,084枚） 森林インストラクターによる講話</p>		<p>従来使用されていた天板の再利用・再加工について検討されたい。 ナラ枯れ材の利用についても表記されたい。</p>
9	4-1-1 さがみはら津久井産材利用拡大協議会の運営支援	<p>「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」と、さがみはら津久井産材等普及啓発事務委託を締結し、協議会事業計画のとおり、潤水都市さがみはらフェスタ等のイベントの出展、つくいのきスタンプの制作、つくいのきステッカーの作成、さがみはら津久井産材PRフリーペーパーの第1弾の増刷及び第2弾の発行、林業者専用スタンプ第2弾の販売を行った。 また、津久井産材を使用した市内建築物について、市HPの「森林情報館」へ掲載（九都県市合同企画）、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に利用された木材を、本庁舎の「木製カウンター」や各まちづくりセンターなどに「木製ソファ」としてレガシー利用するなど、津久井産材のPRを実施した。</p>		<p>さがみはら津久井産材利用拡大協議会の円滑な運営に向け、引き続き支援に取り組んでほしい。 公共建築物等の今後の改修予定等の情報を協議会に共有したり、民間の大規模な開発に対しても働きかけをされたい。</p>
10	4-1-1 公共建築物等への利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・東林間児童館建て替え工事(構造材、内装、建具)、藤野やまなみ温泉改修工事（フローリング）に、さがみはら津久井産材（以下、津久井産材）を使用。 ・5小中学校の腰壁等へ津久井産材を使用。 ・市内各区に「木製ガードレール」（既存ガードレールの木質化）を設置し、津久井産材のPRを実施した。 		<p>行政が原木の購入とストック場所を確保し、素材生産量の拡大に寄与されたい。 公共建築物等への利用を計画的に進められたい。</p>
11	4-1-4 木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進	<p>設定した目標値の実現に向け、具体的な整備場所、整備量、整備方法、整備に必要な支援等について、林業事業者及び県等と連携しながら検討する。</p>		<p>木育や環境学習の効果を狙いとし、教育部局と連携し取り組まれたい。 就学前の幼児を対象とした取組も検討されたい。</p>

12	4-2-3	施業集約化支援事業	<p>小規模・分散している森林を集約し、一体的（森林経営計画）に施業を行い、効率的な林業生産活動に繋げていくことを目的に、集約化に必要な活動に対し支援を行う「森林整備地域活動支援交付金交付要綱」を令和2年度に施行した。</p> <p>森林経営計画作成にあたり必要となる、森林調査や森林所有者との合意形成、森林境界の測量の地域活動に対し、交付金を交付した。</p> <p>また、令和2、3年度に実施した「森林管理の取組方針等策定業務」を踏まえ、人工林の集約化について、県等と調整を行った。</p>	<p>県による水源施策終了後の施業を見据えた支援をお願いしたい。</p>
13	5-1-1	里地里山等の整備事業	<p>○ナラ枯れ対策研修会への参加（森林政策課）</p> <p>○市有林におけるナラ枯れ被害状況の調査を実施（森林政策課）</p> <p>○危険木の取扱いについて、近隣市の対応状況について確認（森林政策課）</p> <p>私有林内の病害虫による危険木の伐採等に係る補助金交付要綱制定（森林政策課）</p> <p>○ナラ枯れ被害対策【66,453千円】 R2からの繰り越し分含む（水みどり環境課）</p> <p>・倒木・落枝による人的・物的被害の防止等のため、ナラ枯れ被害木279本を伐倒・搬出。うち211本の根株のくん蒸処理を実施。（水みどり環境課）</p> <p>○松くい虫被害対策【1,031千円】（水みどり環境課）</p> <p>・被害予防対策として、松32本に樹幹注入（薬剤）を実施</p>	<p>ナラ枯れ被害防止対策として、引き続き現状に応じた対応をしていただきたい。</p> <p>また、伐った材の活用を進められたい。</p>

【重点事項以外】の27事業については、審議会から意見が出なかったため記載はありません。

< 参考 > 重点事項以外の27事業の名称一覧

シートNo・事業コード 事業名

14・1-1-1 森林情報サイトの運営	23・3-1-2 森づくりパートナーシップ推進事業等	32・4-2-4 人材育成・担い手の確保事業
15・2-1-1 林業団体助成事業（林業振興補助金）	24・3-2-1 里地里山保全等促進事業	33・4-2-4 森づくりの推進及び保全事業（再掲）
16・2-1-1 体験学習推進事業	25・3-2-2 自然等の地域資源を生かした各種ツーリズムの推進	34・4-2-5 施業集約化支援事業（再掲）
17・2-1-1 体験学習推進事業（ふるさと自然体験教室）	26・3-2-2 地域と人をつなぐルートづくり	35・5-1-2 森林所有者への意識啓発事業
18・2-1-2 体験学習推進事業	27・3-2-2 市民との連携による交流プログラムづくり	36・5-1-3 森林現況把握等推進事業
19・2-2-1 森林を活用した体験学習の推進	28・3-3-2 森づくりの推進及び保全事業	37・5-2-1 有害鳥獣駆除等対策事業
20・2-3-1 体験学習推進事業（相模川自然の村野外体験教室）（再掲）	29・4-1-4 再生可能エネルギーの利用促進	38・5-2-2 九都県市花粉発生源対策10ヵ年計画
21・2-3-1 体験学習推進事業（ふるさと自然体験教室）（再掲）	30・4-2-1 さがみはら津久井産材利用拡大協議会の運営支援（再掲）	39・5-2-3 不法投棄対策事業
22・3-1-2 緑地保全用地の購入事業	31・4-2-2 林道等路網整備推進事業	40・5-2-4 私有林整備事業等（再掲）